

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○10月11日～

先週末の雇用統計は予想より悪かったですがテーパリング（金融緩和縮小）については変更なしで、年内には開始されるとの見方はそのままです。

為替相場では、ドル高と資源国通貨である豪ドルやカナダドルなどが強い動きとなっています。株価が戻したことからリスク回避的な流れは落ち着いています。

中国の電力不足や不動産セクターのデフォルト懸念、米国のインフレ、エネルギー価格の高騰もマーケットに影響を与えそうです。

<ドル/円>

ドル/円は112円を超えてきたところで114円が視野に入ってきました。

緩やかなドル高トレンドは続きそうです。

下値は111円台を維持できれば堅調な動きが期待できそうです。

<気になるクロス円>

クロス円も上昇に転じてきました。

中長期的には上昇期待が高まるペアも多く、下値は限定的になる可能性があります。

下がれば押し目買いを検討したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

今週は、日本では8月機械受注などがあります。

米国では、9月消費者物価指数、9月卸売物価指数、前週分新規失業保険申請件数、10月ニューヨーク連銀製造業景気指数、9月小売売上高、10月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州では、ドイツとユーロ圏で10月ZEW景況感調査、ユーロ圏で8月鉱工業生産、ドイツで9月消費者物価指数などがあります。

ほかには、英国で8月GDPの発表などがあります。